

株主メモ	
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	1月31日、7月31日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
公告掲載方法	電子公告によりホームページ( <a href="https://www.artner.co.jp/">https://www.artner.co.jp/</a> ) に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない 事由によって電子公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『IRメール配信』サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報(IR)」の更新、決算、ニュースリリース、その他重要事項の最新情報を、Eメールにて配信いたします(無料)。

下記URLまたはQRコードからWebサイトにアクセスしてご登録ください。

<https://www.artner.co.jp/ir/other/mail/>



↑QRコードから  
アクセス

当社のIR活動が表彰を受けました!

日興アイ・アール株式会社  
2022年度全上場企業  
ホームページ充実度ランキング  
●総合ランキング「最優秀サイト」  
●業種別ランキング「優秀サイト」



株式会社ブロードバンドセキュリティ  
Gomez IRサイト  
ランキング2022

- 総合ランキング「優秀企業」  
「金賞」(11位)
- 業種別ランキング  
(サービス業1位)



株式会社アルトナー

東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F  
大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-18 住友中之島ビル2F

Webサイト/投資家情報(IR)のご紹介

<https://www.artner.co.jp/>

アルトナー 検索



▲トップページ



▲投資家情報(IR)(トップページ)▶投資家情報(IR)

エンジニアインタビュー等  
動画ならではの当社情報を配信中!



▲<https://www.youtube.com/> より

アルトナー公式 検索



# 61 | IR

## 株式会社アルトナー

証券コード: 2163

### 第61期 IRレポート【期末】

2022年2月1日~2023年1月31日

特集: 女性エンジニアインタビュー

# Make Value

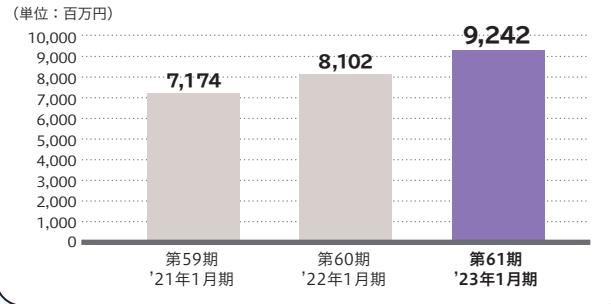
Engineer Support Company



第61期 業績ハイライト

※本文及び図表中の金額は、百万円未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。  
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

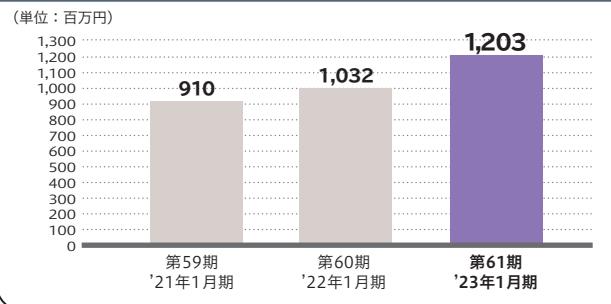
売上高 9,242百万円 14.1%増 [前期比]



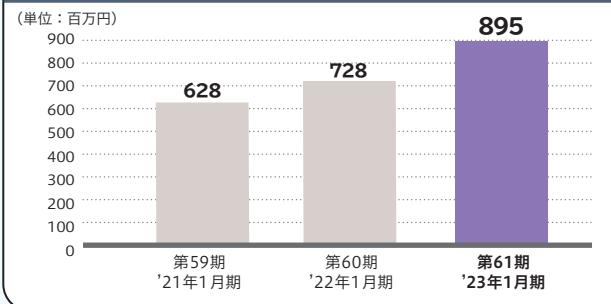
営業利益 1,194百万円 18.2%増 [前期比]



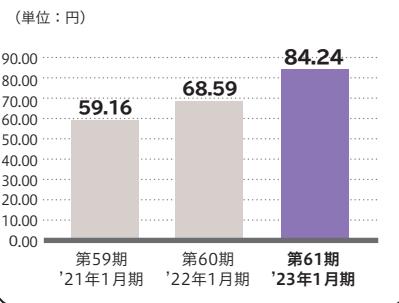
経常利益 1,203百万円 16.5%増 [前期比]



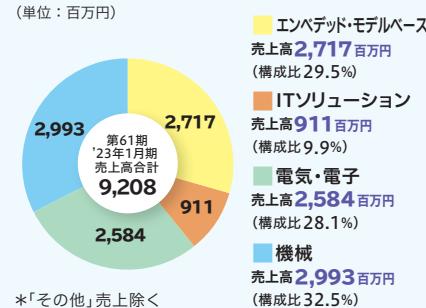
当期純利益 895百万円 22.8%増 [前期比]



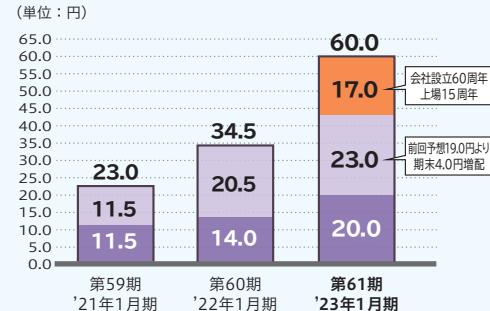
1株当たり当期純利益



第61期 分野別売上高\*



配当金



ROE(自己資本当期純利益率)他 経営指標に関する詳細は ▶アルトナーサイトTOP ▶投資家情報(IR) ▶業績・財務情報 ▶主な経営指標を参照



技術革新における顧客ニーズを逃さず、さらなる飛躍を目指してまいります。

第61期(2023年1月期)の業績、第62期(2024年1月期)の業績予想、中期経営計画(2023年1月期~2025年1月期)及び上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況についてご説明させていただきます。

代表取締役社長

阿井 相三

第61期(2023年1月期)の市場環境

国内外の不安定な情勢の影響を受けることなく、技術革新に伴い、自動車業界、半導体業界からの技術者要請が旺盛。

新型コロナウイルス感染症、ロシア・ウクライナ情勢、資源価格・為替の変動といった国内外の不安定な情勢がございましたが、当社は大きな影響を受けることなく、事業推進することができました。当社の主要顧客である自動車業界は、2050年「カーボンニュートラル」達成に向けて、また、CASE等の技術革新の真ただ中にあり、そのソフトウェア化の進展により、半導体のニーズが急増しております。これらの業界は、足元の景気動向にかかわらず、開発を加速していく事業環境にあり、当社への技術者要請が旺盛でした。

第61期(2023年1月期)の業績概要

稼働率、稼働人員、技術者単価が上昇し、2桁成長、9期連続の増収・増益を達成。

当社は、自動車業界、半導体業界に照準を合わせて、営業活動を強化した結果、稼働率、稼働人員、技術者単価が上昇しました。また、コロナ禍で一時的に悪化が見られた離職率が、コロナ禍前のレベルにまで改善いたしました。これらを踏まえ、第61期の売上高は9,242百万円(前期比14.1%増)、営業利益は1,194百万円(前期比18.2%増)、経常利益は1,203百万円(前期比16.5%増)、当期純利益は895百万円(前期比22.8%増)となり、2桁成長、9期連続の増収・増益となりました。中期経営計画の1年目として、順調に進捗いたしました。



第62期(2024年1月期)の業績予想

### エンジニアの不足感は継続。 「カーボンニュートラル」関連プロジェクトからの 活発な技術者要請を予測。

第62期の市場環境に関して、顧客企業からの技術者要請、また採用市況の激化から、コロナ禍前以上にエンジニアの不足感があります。第61期に引き続き、「カーボンニュートラル」関連の戦略重点マーケットの顧客企業において、開発プロジェクトからの活発な技術者要請を予測

しております。「カーボンニュートラル」に対するアプローチについては、材料、インフラを含めて、その周辺テーマも注視し、事業展開してまいります。

これらを踏まえ、第62期の通期業績の見通しは、売上高は9,797百万円、営業利益は1,325百万円、経常利益は1,328百万円、当期純利益は920百万円の増収・増益を見込んでおります。

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況

### 東証プライム市場の上場維持基準の適合に向け、 取り組みが着実に進行中。

東証プライム市場の上場維持基準の未充足項目である流通株式時価総額100億円達成に向け、流通株式比率を70%に引き上げ、そして、1株当たり当期純利益は2023年1月期84.24円(前期比22.8%増)となりました。

また、資本効率の向上のため、M&Aへの資金活用、配当還元の拡大等の様々な取り組みの結果として、ROE20%以上(2018年1月期実績26.9%)を目指してまいります。

これらの結果、移行基準日(2021年6月30日)時点対比で、株価は2023年1月末時点は997円(16.2%増)、直近(3月31日時点)は1,354円(57.8%増)となりました。流通株式時価総額は2023年1月末時点は75億円(82.9%増)、直近(3月31日時点)は100億円(143.9%増)となりました。

中期経営計画(2023年1月期~2025年1月期)の進捗状況

### ジョブ型雇用の強みを打ち出して、 経営目標数値 技術者数1,600人を目指す。

中期経営計画において、経営目標数値として技術者数1,600人を掲げております。2023年1月末時点で1,157人となっており、2024年1月期においては、2023年4月に新卒技術者130人が入社し、キャリア技術者180人の採用を計画しております。激化する技術者の採用市況において、スキルを重視したジョブ型雇用の当社であれば、様々なプロジェクトを経験しながらキャリアアップできる点をアピールして、学生、求職者の共感を得て、目標達成につなげたいと考えております。

(P6「中期経営計画の進捗」ご参照)

株主・投資家の皆様へ

### 第61期は増配、60周年の記念配当で還元。 第62期も増配を予定。

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は第61期に会社設立60周年の節目を経て、100周年に向かうビジョナリーカンパニーとして新たな一歩を踏み出しております。第62期は中期経営計画2年目となり、最終目標の成果を左右する重要年度と位置付け、全社員一丸となって取り組んでまいります。

当社は、株主・投資家の皆様に安定的な配当を実施すること

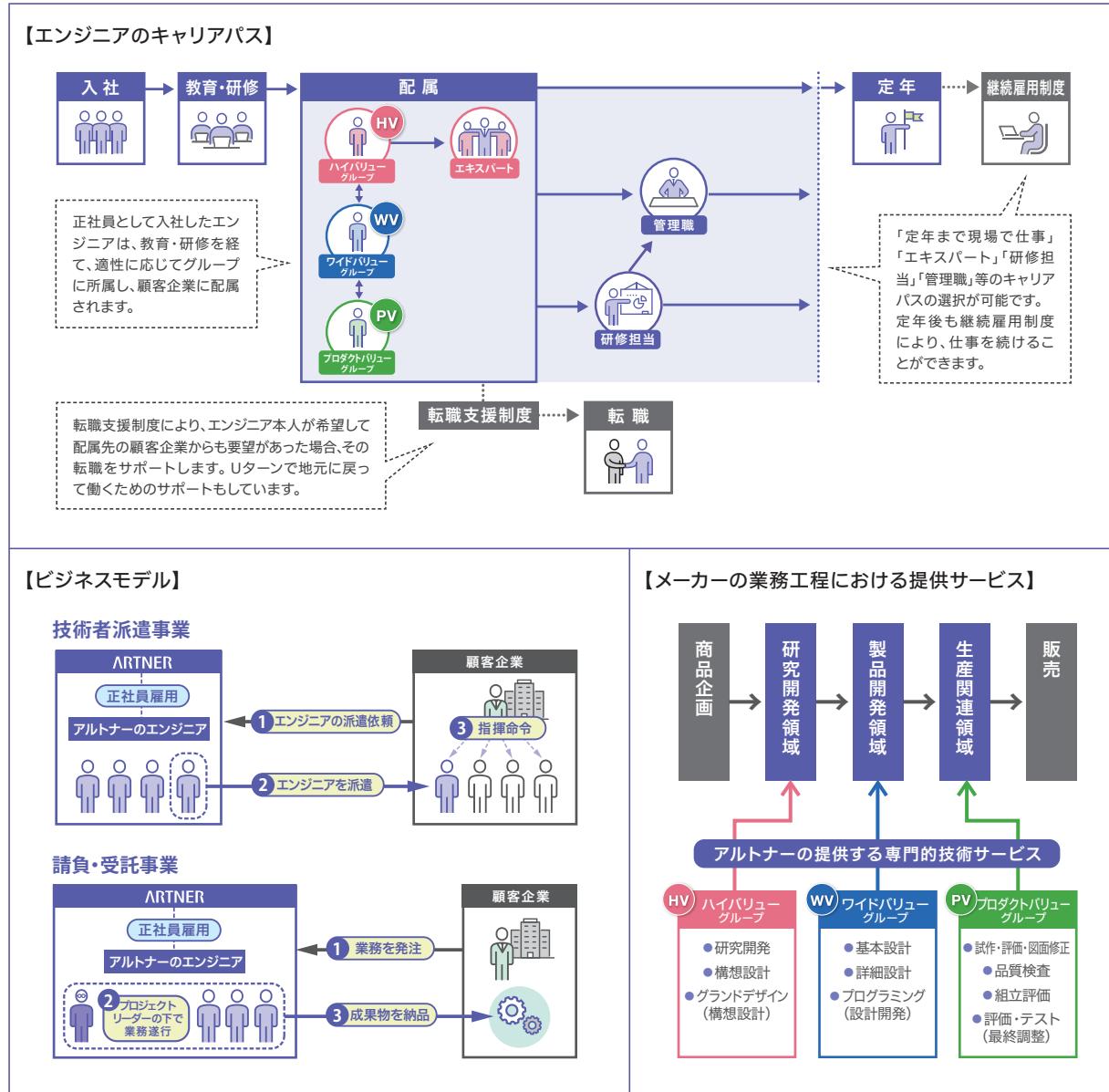


を、経営の重要課題としており、配当性向50%をベースに検討することとしております。第61期の普通配当は、中間20.0円、期末23.0円(前回予想19.0円より**4.0円増配**)の合計43.0円となります。加えて、会社設立60周年、上場15周年に当たり**記念配当17.0円**を実施し、年間計60.0円(配当性向71.2%)となりました。

また、第62期の配当は、中間32.0円、期末32.0円の合計64.0円(配当性向73.9%)を予定しております。今後とも、皆様の継続的なご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。

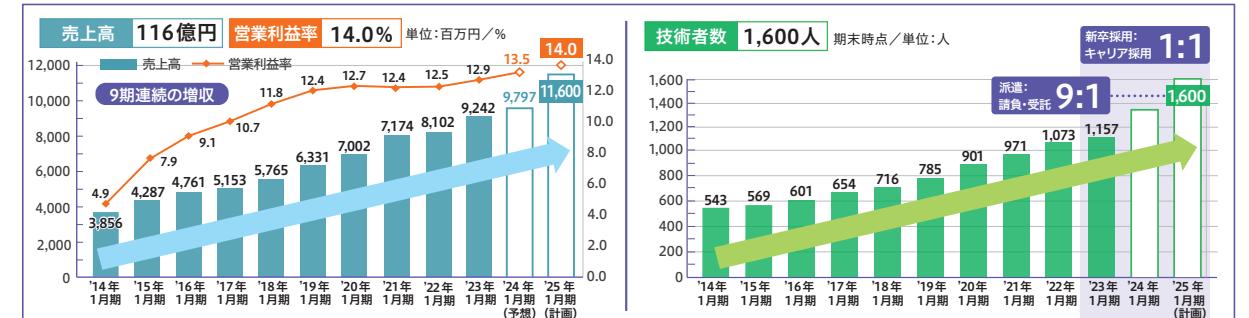
## キャリアパス & ビジネスモデル

技術開発の強力なパートナーとして、多様なニーズにお応えいたします。



## 中期経営計画の進捗

(2023年1月期 ▶ 2025年1月期)



### 技術者数1,600人達成に向けた取り組み

#### 新卒採用

2024年4月入社/目標220人 (前期130人より69.2%増)

2024年1月期 見込み

スタッフ数 **35.7%増** ↑ 投資費用 **48.3%増** ↑

#### 採用活動

- 大学教授への紹介依頼 (全国の理工系大学への定期訪問、採用実績校への積極訪問)
- 大学OBの当社エンジニアによる大学研究室セミナー (対面、オンライン) の実施
- Web媒体の活用/学外合同企業説明会に出展/留学生イベントに出展
- 人材紹介会社の活用/社員紹介制度の活用
- 産学連携 (各種学会への参加、大学での非常勤講師等) による大学教授、大学就職課との関係作り
- インターンシップの実施 (知名度の向上、就職活動の開始後のエントリー数の向上)

#### キャリア採用

2024年1月期入社/目標180人 (前期50人より260%増)

2024年1月期 見込み

スタッフ数 **71.4%増** ↑ 投資費用 **112.5%増** ↑

#### 採用活動

- 通年採用で、経験者だけでなく既卒未経験の優秀な人材も積極的に採用
- 人材紹介会社の活用/Web媒体の活用/社員紹介制度の活用/ハローワークの活用
- 転職フェアに出展
- キャリア採用専用Webサイトの開設
- スタッフ数の増加とスキルアップにより、内定承諾率を向上させる

### 採用活動全般でのPR内容

#### 仕事、環境の提供

エンジニアに良い仕事、良い教育環境を用意し、安心して働ける給与を含めた福利厚生を充実させていく。キャリアパス、スキルアッププランを用意していく。

#### ジョブ型雇用

上流、中流、下流の工程のプロジェクトを用意し、入社して中流からキャリアをスタートし、プロジェクトを移行することで、上流へのキャリアアップを自社内で完結することができる。

#### 転職支援制度による同業他社との差別化

転職支援制度が「魅力的だった」と入社者アンケートで約8割が回答。就職活動時に同業他社との比較で有効に働く。

### 離職率の改善

コロナ禍においてプロジェクトが終了し、アルトナーに研修復帰するエンジニアが例年より増加したため、離職率が上がったが、コロナ禍からの回復に伴い、例年の水準への離職率の改善が見込まれる。

営業担当者が定期的にエンジニアを訪問、またはオンライン面談を実施し、コミュニケーションを密にとる。

特集

女性エンジニアインタビュー

アルトナーでは、マテリアリティ(重要課題)として「ダイバーシティ&インクルージョンの推進」を掲げ、誰もが「働きやすい環境づくり」に取り組んでいます。一人一人の様々なライフステージにおける声に耳を傾け、社会的な要請も踏まえながら、必要な制度の整備を進めています。

女性エンジニアが、実際の職場で活躍する姿をご紹介します。

(取材・記事執筆：アルトナー取材班)

インタビュー #001

(左) ワイドバリューグループ  
K.K. 2022年新卒入社  
学生時代の専攻科目  
大学院デザイン研究科 人間情報デザイン専攻  
所属分野 機械

(右) ハイバリューグループ  
S.K. 2022年新卒入社  
学生時代の専攻科目  
情報科学専攻  
所属分野 ソフトウェア モデルベース



子どもの頃に出合ったカラクリの仕組みに惹かれ、「ものづくりに関わりたい!」とエンジニアの道を選んだK.K.さんは、総合電機メーカーでゲーム機器の生産設備開発に従事して2年目になります。大学ではデザイン研究を専攻していたので入社後は周りについていけない不安もありましたが、持ち前の探究心と新入社員研修を通して自信が持てたそうです。また、配属後も、アルトナーで月1~2回開催されるキャリアサポート講座を受講してスキルアップに努めています。「私の担当する生産設備には、電気的なことも、ソフトウェア的なことも、最終的に関わってきますので、知っておけばもっと円滑に進められます。今のうちからどんどん吸収していきたいです」と語るK.K.さんは、将来的には暮らしを面白くする斬新な開発プロジェクトに関わりたいたいとのこと。アルトナーの転職支援制度を活用したキャリアアップも視野に入れているそうです。

海外で育ち、メルボルンの大学を卒業した入社2年目のS.K.さんは、自動車機器サプライヤーで車両ブレーキシステムの開発・検証を担当。要所で上司からのサポートを受けつつ、業務を任せられていることに大きなやりがいと責任を感じる毎日です。今の職場には憧れのアルトナーの先輩がいるそうで、「私に業務指導をしてくださる女性エンジニアの方ですが、男女を問わず頼りにされる大きな存在です。彼女の仕事の進め方やコミュニケーション力は、私のお手本です」と、目指すエンジニア像を教えてくださいました。S.K.さんは、スキルアップに向けて、「基礎情報技術者試験の資格取得と、自分の強みである英語力を仕事でもっと活かすためにTOEICを受検したいです」と語ります。将来は仕事と家庭を両立させたいとプランを描くS.K.さんは、「挑戦できる場所=アルトナー」で自己実現に向けて力強く歩み出しています。



インタビュー #002

(左) ワイドバリューグループ  
S.A. 2022年新卒入社  
学生時代の専攻科目  
理工学部 理工学科  
所属分野 ソフトウェア ITソリューション

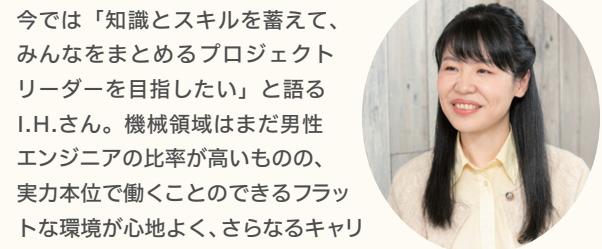
(右) ワイドバリューグループ  
I.H. 2015年新卒入社  
学生時代の専攻科目  
生産工学部 創生デザイン学科  
所属分野 機械



入社2年目のS.A.さんがエンジニアを志したきっかけは、幼稚園の頃、二足歩行ロボットのASIMOを見て「かわいい、自分でも作ってみたい」と思ったこと。現在、システムインテグレーション企業でシステム運用業務に携わりながら、「いつかロボット製作の夢をかなえられたら」とソフトウェアエンジニアとしてスキルアップの日々を送っています。その一つが資格取得で、配属先のアルトナーの先輩や上司のアドバイスを受けて、「Salesforce認定アドミニストレーター」という開発関連の資格取得の勉強を進めています。30歳までに結婚してワークライフバランスを充実させたいと計画しているS.A.さんは「資格を持っていれば、将来、育休後の仕事も復帰先が見つかりやすいと思うから」と、若いうちに資格取得を目指す理由を説明してくれました。女性エンジニアが多いソフトウェアの職場で、優しい先輩や上司に恵まれて、楽しくスキルアップしています。

入社2年目のS.A.さんがエンジニアを志したきっかけは、幼稚園の頃、二足歩行ロボットのASIMOを見て「かわいい、自分でも作ってみたい」と思ったこと。現在、システムインテグレーション企業でシステム運用業務に携わりながら、「いつかロボット製作の夢をかなえられたら」とソフトウェアエンジニアとしてスキルアップの日々を送っています。その一つが資格取得で、配属先のアルトナーの先輩や上司のアドバイスを受けて、「Salesforce認定アドミニストレーター」という開発関連の資格取得の勉強を進めています。30歳までに結婚してワークライフバランスを充実させたいと計画しているS.A.さんは「資格を持っていれば、将来、育休後の仕事も復帰先が見つかりやすいと思うから」と、若いうちに資格取得を目指す理由を説明してくれました。女性エンジニアが多いソフトウェアの職場で、優しい先輩や上司に恵まれて、楽しくスキルアップしています。

FAX技師だった父親を身近で見ている、工学への憧れが芽生えたというI.H.さん。入社8年目を迎える現在、2つ目の配属先となる自動車メーカーで、バンパーの品質性を担保するための解析業務を行っています。メーカーの設計担当者を中心に、多くのメンバーが協力して行う設計開発は、チームワークが大切。皆と連携しながら自分の担当業務を成し遂げた時は、何よりの達成感を覚えるそうです。少しシャイだった新人の頃、アルトナーの先輩エンジニアから気持ちのこもったアドバイスを受けて積極的になることができ、「そこが私の成長タイミングでした」と振り返ります。今では「知識とスキルを蓄えて、みんなをまとめるプロジェクトリーダーを目指したい」と語るI.H.さん。機械領域はまだ男性エンジニアの比率が高いものの、実力本位で働くことのできるフラットな環境が心地よく、さらなるキャリアアップを目指しています。



アルトナー人事グループより

「産休、育休などに関して、まずは何でもいので、子育てに関して仕事に支障が出るのであれば相談してほしいです。アルトナーとしては前向きに相談に乗って、両立できるようにサポートしていきたいと考えています。子育てするための時短勤務制度や、時間外労働免除などの要望も配属先と調整していければと思っています。また、意見や要望などの声も寄せていただき、会社としての制度の中で、できる限り働く環境を整えるサポートをしたいと考えています。」

Webサイト「エンジニア女子」コンテンツ

今回ご紹介した4名を含め、女性エンジニアのインタビューをWebサイトに掲載しております。ぜひご覧ください。

アルトナーWebサイトTOPページ  
▶サイドメニュー「エンジニア女子」



## 要約財務諸表

貸借対照表(要旨)		(単位:百万円)	
科 目	第60期末 2022年1月31日	第61期末 2023年1月31日	
<b>資産の部</b>			
流動資産	4,615	5,161	
固定資産	473	511	
有形固定資産	82	80	
無形固定資産	37	27	
投資その他の資産	353	404	
<b>資産合計</b>	<b>5,088</b>	<b>5,673</b>	ポイント①-A
<b>負債の部</b>			
流動負債	927	953	
固定負債	579	671	
<b>負債合計</b>	<b>1,506</b>	<b>1,625</b>	ポイント①-B
<b>純資産の部</b>			
株主資本	3,577	4,042	
資本金	238	238	
資本剰余金	168	168	
利益剰余金	3,171	3,636	
自己株式	△0	△0	
評価・換算差額等	4	5	
その他有価証券評価差額金	4	5	
<b>純資産合計</b>	<b>3,582</b>	<b>4,047</b>	ポイント①-C
<b>負債純資産合計</b>	<b>5,088</b>	<b>5,673</b>	

### ポイント① 貸借対照表

- ①総資産は、現預金、売上債権の増加により、前事業年度末に比べ584百万円増加。
- ②負債は、退職給付引当金の増加により、前事業年度末に比べ118百万円増加。
- ③純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ465百万円増加。

### ポイント② 損益計算書

- ①売上高は、技術者派遣事業にて、労働工数が前期より微減となったものの、稼働人員が前期を上回り、技術者単価が前期より微増となったことにより、前期比14.1%増の9,242百万円。
- ②利益面においては、当社は技術者の労務費に関して、顧客企業に配属前の未配属者は販売管理費で計上し、配属後は売上原価で計上しており、未配属者の配属の進捗により、販売管理費の労務費が減少し、売上原価が増加。一方、販売管理費に関して、労務費は減少したものの、採用・営業活動の回復に伴う求人費、旅費交通費等の増加により、微増。
- これらの結果、営業利益は前期比18.2%増の1,194百万円、経常利益は前期比16.5%増の1,203百万円、当期純利益は前期比22.8%増の895百万円。

※本文及び図表中の金額は、百万円未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。  
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

損益計算書(要旨)		(単位:百万円)	
科 目	第60期 2021年2月1日から 2022年1月31日まで	第61期 2022年2月1日から 2023年1月31日まで	
<b>売上高</b>	<b>8,102</b>	<b>9,242</b>	ポイント②-A
売上原価	5,302	6,168	
売上総利益	2,800	3,073	
販売費及び一般管理費	1,789	1,879	
<b>営業利益</b>	<b>1,010</b>	<b>1,194</b>	ポイント②-B
営業外収益	24	10	
営業外費用	2	1	
<b>経常利益</b>	<b>1,032</b>	<b>1,203</b>	ポイント②-C
特別利益	25	-	
特別損失	0	0	
税引前当期純利益	1,057	1,203	
法人税、住民税及び事業税	368	348	
法人税等調整額	△39	△40	
<b>当期純利益</b>	<b>728</b>	<b>895</b>	ポイント②-D

キャッシュ・フロー計算書(要旨)		(単位:百万円)	
科 目	第60期 2021年2月1日から 2022年1月31日まで	第61期 2022年2月1日から 2023年1月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	770	872	ポイント③-A
投資活動によるキャッシュ・フロー	33	△24	ポイント③-B
財務活動によるキャッシュ・フロー	△270	△426	ポイント③-C
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	534	421	ポイント③-D
現金及び現金同等物の期首残高	3,019	3,554	
現金及び現金同等物の期末残高	3,554	3,975	

### ポイント③ キャッシュ・フロー計算書

- ①当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ421百万円増加。
- ②営業活動CFは、法人税等の支払があったものの、税引前当期純利益により、872百万円のプラス。
- ③投資活動CFは、敷金及び保証金の差入による支出により、24百万円のマイナス。
- ④財務活動CFは、配当金の支払により、426百万円のマイナス。

## 会社・株式情報

会社概要 (2023年1月31日現在)		事業内容	
名称	株式会社アルトナー	研修拠点(LC)	東日本/西日本
設立	1962年9月18日(昭和37年9月18日)	事業内容	1)ソフトウェア 2)電気・電子 3)機械 上記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
代表者	代表取締役社長 関口 相三	社員数	1,276人
株式	東京証券取引所プライム市場 (証券コード:2163)	許可番号	労働者派遣事業(派27-020513) 有料職業紹介事業(27-ユ-020355)
資本金	2億3,828万4,320円		
本社	東京/大阪		
事業拠点	横浜/大阪/宇都宮/名古屋		

役員一覧 (2023年1月31日現在)	
代表取締役社長	関口 相三
取締役	張替 朋則
取締役	奥坂 一也
取締役	佐藤 宗
取締役	江上 洋二
取締役(常勤監査等委員)	寺村 泰彦
取締役(監査等委員)	森井 眞一郎
取締役(監査等委員)	野村 龍一郎

株式の状況 (2023年1月31日現在)	
発行可能株式総数	36,000,000 株
発行済株式数	10,627,920 株
流通株式数	74,096単位
株主数	11,595人

大株主の状況 (2023年1月31日現在)		
氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%) ※
株式会社関口興業社	2,126,000	20.00
アルトナー従業員持株会	996,648	9.37
大阪中小企業投資育成株式会社	480,000	4.51
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	430,300	4.04
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	246,895	2.32
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	180,000	1.69
張替 朋則	140,840	1.32
JPモルガン証券株式会社	129,447	1.21
奥坂 一也	115,380	1.08
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	111,459	1.04
<b>計</b>	<b>4,956,969</b>	<b>46.65</b>

※発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合

## 株式の分布状況 (2023年1月31日現在)

